

火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会（令和6年度第3回）議事要旨

1 開催日時

令和7年2月26日（水）10時00分～12時00分

2 開催場所

WEB 会議

3 出席者

（1）委員（敬省略、順不同）

新井 充（座長）、朝倉 浩一、岩田 雄策、熊崎 美枝子（書面審議）、芝田 育也、鶴田 俊、
番場 啓泰、三宅 淳巳

（2）オブザーバー（敬省略、順不同）

辻村 聡（厚生労働省）、藤田 治人（経済産業省）

（3）事務局

加藤 晃一、根本 雄、馬場 光、長嶺 将彦

4 配布資料

（資料Ⅲ－1） 火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書（案）

〔参考Ⅲ－1〕 火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討会（令和6年度第2回）審議結果

5 議事内容

（1）「火災危険性を有するおそれのある物質等に関する調査検討報告書(案)」について

資料Ⅲ－1により事務局から説明が行われた。

【 委 員 】 対象物質の生成する毒性ガスの量が一定量を超えているので指定は妥当である。

【 委 員 】 指定は妥当であると考える一方で試験方法について確認したい。今後試験をする物質で毒性ガスの量が基準値間際であった場合や測定した数値がバラついた場合はどのように判断するのか。また、再現性を得るための試験回数等の規定はあるのか。

【 事 務 局 】 今まで試験をした物質については、基準値間際のケースがなかったため、具体的な回数は決めていない。今後、事務局にて試験で得た数値の取り方、回数等は検討させていただきたいと考えている。

【 委 員 】 消防活動阻害性について、海外での火災事故などでも住民に避難を呼びかけるケースも発生している。そのような物質の阻害性も検討した方がよいと考える。

【 事 務 局 】 引き続き来年度以降も海外の事故事例等をはじめとした文献調査等で事例を抽出し、検討が必要なものについては検討会に諮りたいと考えている。

【座 長】 事務局の報告書案について、了承した。

(2) その他

特段の意見なし。

6 閉会

以上